



よもと

学校だより No.9
令和5(2023)年2月17日
草津市立草津第二小学校

<http://www.kusatsu2-p.sk.ed.jp>

自ら考え、すすんで行動する子ども

～ どんとんチャレンジ! やればできる ・ 思いやりとありがとうの心で ~



学校運営協議会（コミュニティ・スクールくさつ）より

日頃保護者、地域の皆様のご理解ご協力のもと、教育活動を推進しています。その教育活動をより充実させるため、地域や保護者の代表の方に委員として年間4回協議会にご出席いただき、本校の教育活動や運営にかかわりご協議いただきました。

特に4回目の協議会では今年度の活動の成果と課題から、次年度に向けた貴重なご意見をいただきました。いただいたご意見をもとに今後学校で検討し、次年度の教育活動に活かしてまいります。

【主なご意見より】

○心の学び

- ・草津第二小学校は、以前から学びとともに、心の教育の充実に力を入れてこられた。その成果が徐々に表れている。

⇒「思いやりとありがとうの心で」を合言葉に、道徳科をはじめ普段の活動から心の学びを深めてまいります。

○ICT教育

- ・どの学級もICTを活用した学習を意識して取り組んでおられる。特に、今までは発言力のある友だちの影で埋没していた児童が、自分の立場や考えをはっきりさせ、表現できるということもあり、考えの自立が促されるのではないかと考える。まだまだ授業での改善の余地があり、楽しみである。

⇒ICT教育を進めていくにあたり、情報モラルの徹底とタブレット端末をはじめ教育機器の効果的な使い方を研究してまいります。

○働き方改革

- ・教職員の働き方改革は、なかなか難しい課題である。効率的な指導方法を互いに教え合っていくことも大切であるが、放課後に悩みを相談する場も必要である。あまり力を入れなくてもよいところは、経験のあるものが、伝えていくべきである。

⇒働き方改革実現に向け、できることから少しずつ進めてまいります。

引き続きご理解、ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

○家庭・地域・学校の連携

- ・地域や保護者も、前向きで、連携が当然のようにできている。設立50周年事業の中で、当時のPTA会長の話などからもいかに良い学校をつくるのだという心意気が伝わった。

⇒創立50周年の節目の年、全校で「草津第二小学校」のよさを再発見しました。

今後も連携が深まり、より充実した活動推進のためにお力添えください。

子どもたちの姿から・・・

「ありがとう6年生集会」

2月24日「ありがとう6年生集会」開催にむけ、立案・計画・運営した5年生の活躍は素晴らしく、あと一週間に迫り一生懸命取り組んでいます。

そこでは、1年生から学年ごとのメッセージと贈り物からこれまでのお世話になった6年生への感謝の気持ちを伝えます。たとえば4年生は、相手のサイズに合わせ「角帽」を作製します。

入学当時、大きなランドセルが歩いていたような6年生の子どもたちの姿がありましたが、今ではそのランドセルが小さく見えます。ランドセル姿もあと少しです。

小学校の6年間の成長は一生のうち一番変化が大きく、どの子も身体も心も大きく成長してくれました。

この集会在心に残るすばらしいものとなることでしょう。

また、この会により5年生が新年度最高学年としての自覚が出てきた頼もしい姿が見られました。

新年度の最高学年としての活躍が楽しみです。



「6年生 土木体験学習」

栗東市で現在建設中のバイパスの工事現場での体験をさせていただきました。

とくに「大津能登川長浜線補助道路」の高架橋建設工事現場で、実際と同じようにクレーンに乗ったり、手作業によるボルトを締めたりする体験をさせていただきました。かなりの高さで大きな振動や音がする仕事の大変さの中に、このような大きな「ものづくり」に対する人の努力、工夫や知恵のすばらしさを感じました。貴重な経験をさせていただきました。



「3年生 国際交流体験 ～ウクライナ～」

3年生がよもとの学習「国際交流」として龍谷大学のウクライナからの留学生の皆さんと交流しました。

ウクライナ出身の皆さんから、自分たちの子どもの頃、学校の様子や生活などについてお話をしてくださいました。

現在はロシアとの戦争による厳しい状況の中ですが、1日も早い戦争の収束を心より願います。

